

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 5 年 2 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 5 年 2 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 5 年 2 月 28 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【原材料価格や燃料費等の高騰による利益圧迫が続くものの、全体の業況は改善傾向にあり、社会経済活動の正常化が期待されている】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-17.9（前月-27.2、前年同月-37.8）で、前月比 9.3pt 好転した。全ての業種で原材料価格や燃料費等の高騰による影響を受け、利益圧迫が続いている状況であるが、新型コロナウイルス感染者数の減少による行動制限緩和等で社会経済活動の正常化が期待されている。

【製造業】

業況は-12.8（前月-19.6、前年同月-24.5）と前月に比べ 6.8pt 好転した。原材料価格や燃料費等の高騰による利益圧迫が続いている状態であり、一部の事業者では人手不足に陥っている。

【建設業】

業況は-20.6（前月-38.2、前年同月-50.0）と前月に比べ 17.6pt 好転した。リフォーム等の需要が増加し業況は改善されたが、建築資材の不足や燃料費等の高騰が続いている。

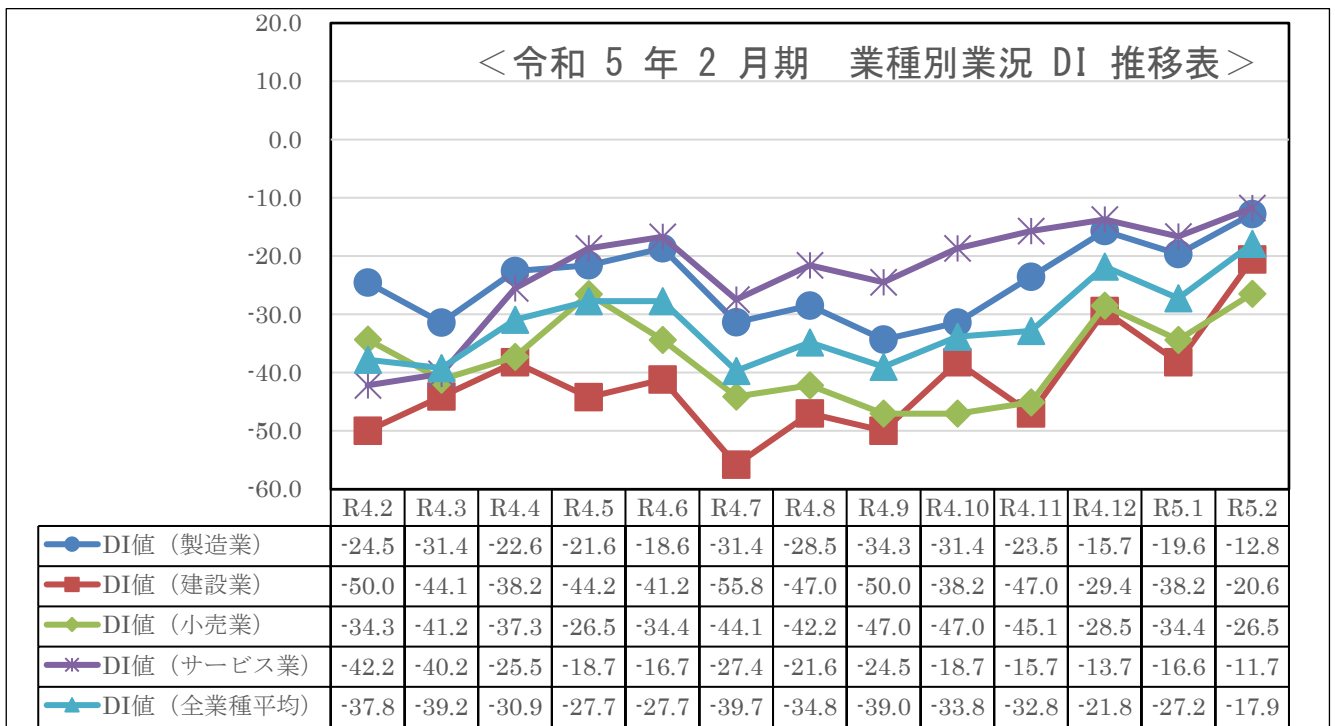
【小売業】

業況は-26.5（前月-34.4、前年同月-34.3）と前月比 7.9pt 好転した。仕入価格や経費の高騰等により利益が圧迫されているが、行動制限の緩和やプレミアム商品券等により個人消費がやや回復し、業況が改善された。

【サービス業】

業況は-11.7（前月-16.6、前年同月-42.2）と前月に比べ 4.9pt 好転した。新型コロナウイルス感染者数の減少や全国旅行支援が継続されていることから、業況は改善傾向にあるが、他業種と同様に光熱費等の高騰による影響を受けている。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・洋菓子製造業では、生産に必要な鶏卵価格が大幅に高騰しているため、更なる値上げにより対応をしている。（伊豆）
- ・輸出と連動性が高い資材製造分野では、受注増で人手不足が問題化している。（富士駿東）
- ・材料費、運搬費、電気料等の高騰により、利益が圧迫されている。（中部）
- ・光熱費等の高騰により利益が圧迫されているが、下請けであると取引先との値上げ交渉も難しい。また人手不足の状況である。（中東遠）
- ・機械金属業では半導体やE V関連の引き合いが増加している。特に検査装置の需要増が顕著であり、今後しばらくは需要が続くと予想されている。（西遠）

【建設業】

- ・材料や燃料費等の高騰により、採算はあまり好転できていない状況である。（伊豆）
- ・仕事量自体は非常に多く、全体的に「多忙」との声が聞かれる。（富士駿東）
- ・材料費の高騰と仕入れの不安定化により、新築の受注が減少している。（中部）
- ・リフォーム等需要があるものの、国産材の高騰等の影響を受けている。（中東遠）
- ・建築部材がコロナ禍前と比べると2倍近く値上がりしている。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業）

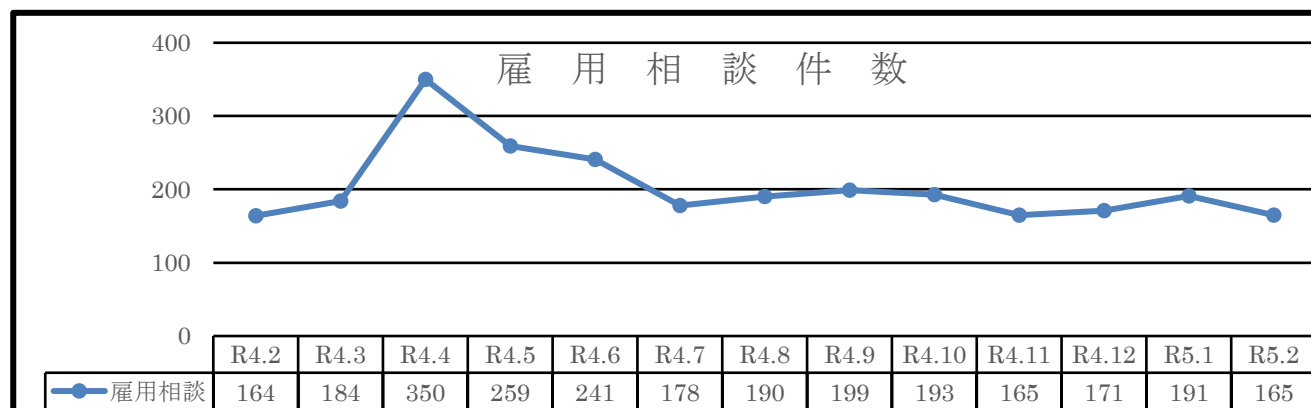
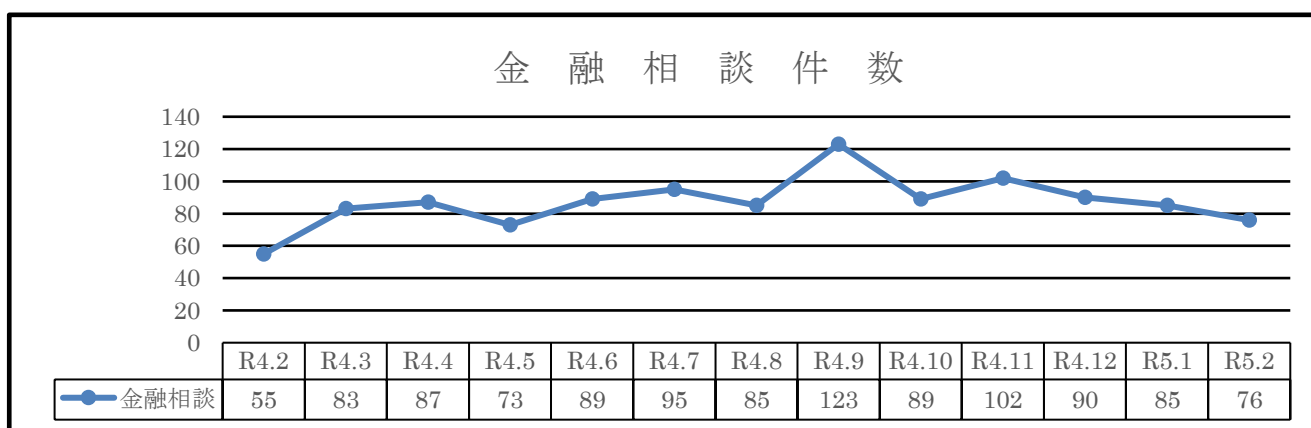
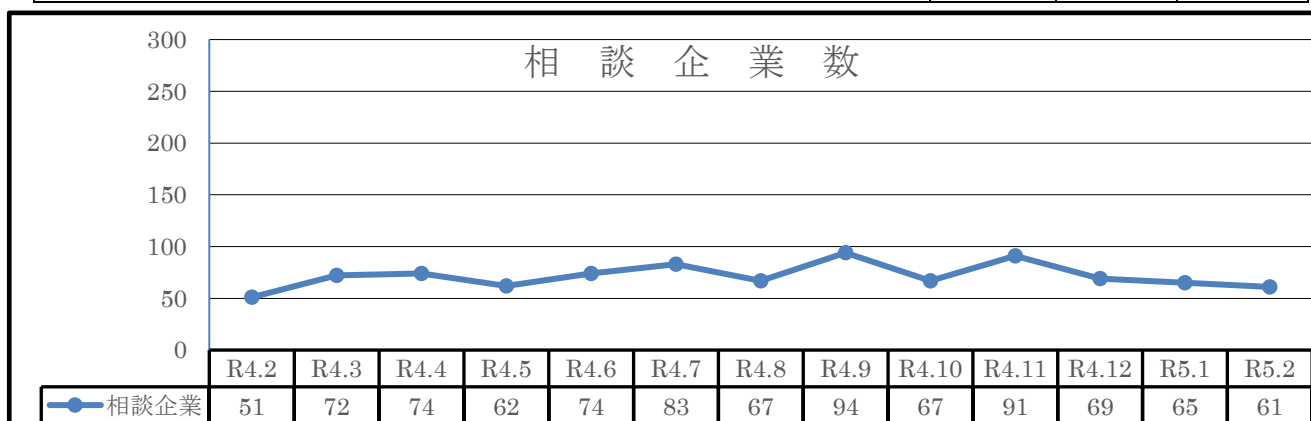
- ・食品の値上げが続き価格設定が難しい状況が続いている。品物によっては仕入れも難しくなっている。（伊豆）
- ・仕入価格や人件費が上昇する中、販売価格へ転嫁できず利益が圧迫されている。（富士駿東）
- ・衣料品は行動制限緩和により、売上が回復している。（中部）
- ・耐久消費財や食品ではプレミアム商品券の駆け込み需要等があった。（中東遠）
- ・食品は経費高騰や輸入品の値上げ等の影響を受け、厳しい状況が続いている。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・河津桜まつりの通常開始により観光客が増え、売上は回復傾向にあるが、電気料金の高騰等による経費増の影響もある。（伊豆）
- ・旅館業は予約が戻りつつあるものの、1団体当たりの人数が減少している。（富士駿東）
- ・洗濯業及び理美容業は、光熱費の上昇が利益を圧迫している。（中部）
- ・旅館業はコロナに対する意識変化もあり、少しずつ顧客が戻ってきている。（中東遠）
- ・洗濯業は燃料費高騰により業界全体が苦しい状況が続いている。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和5年2月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	61	65	-4
【金融相談件数】	76	85	-9
新規融資(借換えを除く)	39	51	-12
既存債務の借換え	27	28	-1
借入れ条件変更	2	1	1
消費者金融・商工ローン関連	1	0	1
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	7	5	2
【雇用相談件数】	165	191	-26



【金融相談】

金融相談件数は76件と前月(85件)に比べ9件減少した。新型コロナや物価高騰等の影響による融資、資金繰り等に関する相談があった。

<経営指導員コメント>

- ・借換や新規(創業)の融資相談があった。(富士駿東)
- ・新型コロナ特別貸付の返済据え置きが終了する事業者が増えており、今後の対応方法に関する相談が増加している。(中部)
- ・仕入資金、諸経費支払資金等の当面の資金を確保することで、資金繰り改善を図る案件があった。また工具類購入等の設備資金に関する相談もあった。(中東遠)
- ・材料費等が上昇するため、値上がり前に在庫をストックする事業者があり、一部においては運転資金の需要がある。一方で、コロナの影響で売上が回復せず、リスケジュールの相談がある等、二極化をしている。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、165件と前月(191件)に比べ26件減少した。前月に続き、人手不足や外国人労働者の雇用等に関する相談が多くあった。

<経営指導員コメント>

- ・人手不足により事業拡大ができない等の相談が多い。(伊豆)
- ・雇用調整助成金の経過措置の終了や、キャリアアップ助成金等の助成金制度について適宜情報案内を行った。(富士駿東)
- ・雇用保険の手続きに関する相談が主となっている。(中部)
- ・就業規則や雇入通知書、36協定、短時間労働者の社会保険、雇用保険加入要件等の説明を行った。また従業員不足により、外国人労働者雇用を検討している事業者へ情報提供を行った。(中東遠)
- ・輸送機器製造業においては、先行きの不透明感から実習生の受入を見合わせる企業が複数ある。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・2/1(水)～3/5(日)に「河津桜まつり」が開催され、来場者は前年比67%増の51万人であった。大型バスは前年比6倍で、このうちアジア系を中心にインバウンド客が16%と3年前(2020年)水準に回復した。(河津町)
- ・2/1(水)～2/28(火)に「第3回早春のおやまっちスタンプまつり」を実施した。(小山町)
- ・2/23(木・祝)に「第16回ちよっく楽市」を開催した。(静岡市清水)
- ・4/22(土)～23(日)にマリパーク御前崎で愛犬家をターゲットにしたイベント「御前崎シーサイドピクニック」を開催予定である。(御前崎市)
- ・2/28(火)で市政施行50周年記念事業「湖西市プレミアム付きデジタル商品券」の利用期間が終了し、計190店舗の参加があった。(新居町)